

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ
(2024年1月29日(月)～2月4日(日))

岸和田聖書教会
牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまを食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどを箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

1月29日(月)

今日の聖書日課：マタイ 12:22～37

ですから、わたしはあなたがたに言います。人はどんな罪も冒瀆も赦していただけますが、御霊に対する冒瀆は赦されません。また、人の子に逆らうことばを口にする者でも赦されます。しかし、聖霊に逆らうことを言う者は、この世でも次に来る世でも赦されません。 マタイ 12:31～32

赦される罪と赦されない罪があるのか？そうです。すべての罪は神の御子イエス・キリストの十字架によって赦されます。しかしその罪を指摘し、悔い改めを促す聖霊を拒む、聖霊に逆らう、聖霊を冒瀆するならば、もう赦しの道はありません。私たちにとって「今」が悔い改めるチャンスなのです。なぜならば、私は、あなたはこの聖霊の働きを無視し、今、聖霊によって目が開かれたからです。

1月30日(火)

今日の聖書日課：マタイ 12:38～50

しかし、イエスは答えられた。「悪い、姦淫の時代はしるしを求めますが、しるしは与えられません。ただし預言者ヨナのしるしは別です。ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、地の中にいるからです。 マタイ 12:39～40

律法学者、パリサイ人たちから、しるし(奇跡)を見せてほしいと言われたイエスが彼らに答えたことば。彼らが願うしるしは与えられないが、「預言者ヨナのしるし」がある、と言います。これは何を指しているかというと、十字架で死なれたイエスが三日目によみがえるという奇跡のこと。人のリクエストではなく、神が示されるしるし。決定的な救いのしるし。イエスは、すでにこの時点で十字架と復活、その道を歩んでおられたのです。

1月31日(水) 本日 10:30 の祈禱会は韓国・大光(デガン)教会のみなさんとともに。

今日の聖書日課：マタイ 13:1～9

また、別の種は良い地に落ちて実を結び、あるものは100倍、あるものは60倍、ある者は30倍

になった。 マタイ 13 : 8

イエスのたとえ。「四つの種」。とよく言われますが、種はみな同じ。同じ種類の種。みことばの種。違うのは土壌。だからこのたとえは「四つの土壌」と言うべきお話。そして上記四番目、「良い地」に落ちるということが、本来的なことでした。種を蒔く人は、「良い地」をめがけて種を蒔くのです。その中で、イレギュラーな地（道端・土の薄い岩地・茨の間）に落ちる種もある。神さまのみこころは、みことばの種が「良い地」である私たちの心に蒔かれて、豊かな実を結ぶことなのです。それなのに、この「良い地」が四番目に来ているのは、いかに私たちの心が「良い地」ではないということを示しているのです。ここが悔い改めるべきところです。

2月1日（木）

今日の聖書日課：マタイ 13 : 10～23

まことに、あなたがたに言います。多くの預言者や義人たちが、あなたがたが見たいと切に願ったのに、見られず、あなたがたが聞いていることを聞きたいと切に願ったのに、聞けませんでした。マタイ 13 : 17

イエスが弟子たちに語られたことば。歴史の中の信仰者たちが見たい、聞きたいと切に願ったが、見ることができず、聞くことができなかつたこととは何であったか？それはイエス・キリスト。人となられた神。そのことば、その姿、そのまなざし、そのタッチ。イエスは弟子たちに言われます。

「しかし、あなたがたの目は見えているから幸いです。また、あなたがたの耳は聞いているから幸いです。」(16)。イエスが目の前にいるのに「見ていない」・「聞いていない」人たちもいました。そんな中で弟子たちは、イエスを見て、聞いて、交わりを持っていました。それは、神の選びでした。

あなたも選ばれた者です。信仰の目を、耳を開かれ、主イエスを見ること、聞くことができるのです。

2月2日（金）

今日の聖書日課：マタイ 13 : 24～35

イエスはまた、別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国はからし種に似ています。人はそれを取って畑に蒔きます。どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どんな野菜よりも大きくなって木となり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るようになります。」 マタイ 13 : 31～32

からし種の小ささと、その木の大きさ。その対照をイエスは弟子たちに示されました。小さな信仰であっても真実なお方を信じる信仰は、信じる人を、多くの人々が寄りついて救いを求める対象たらしめます（その人が人を救うのではなく、神が救うのですが）。大事なことは信仰の大小ではありません。はっきりと信じることです。

2月3日（土）

今日の聖書日課：マタイ 13 : 36～46

高価な真珠を一つ見つけた商人は、行って、持っていた物すべてを売り払い、それを買います。マタイ 13 : 46

高価な真珠とはあなたのこと。商人はイエスさま。イエスさまはご自分のいのちを支払って、あなたを買いました。あなたは、それほど高価なのです。

2月4日（日）本日の礼拝説教箇所：マタイ 13 : 47～58 「家族に伝えるってむずかしい」

ほんとうにむずかしいですよ？ どうすればいいのでしょうか？